

令和5年第1回定例会

議案審査特別委員会における主な議案質疑

(3月9日、10日、14日、15日開催)

議案審査特別委員会は議長を除く15名の委員で構成。

議案第17号 令和4年度かすみがうら市一般会計補正予算

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額から、それぞれ6億2738万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ204億8720万5千円とするものです。

Q 6億2738万8千円の減額の主な内訳は

A 主な内訳は、複合交流拠点施設等用地取得費の差額で9583万9千円、複合交流拠点等実施設計業務委託の整備内容変更による7370万円、それに伴う交通安全照明施設設置工事見直しで8638万1千円の減額。児童手当、市内認定こども園給付費、子ども・子育て支援交付金は対象数の見込みからそれぞれ4315万円、3000万円、2597万4千円となります。

議案第21号 令和5年度かすみがうら市一般会計予算

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額を、それぞれ181億4800万円とするものです。

Q ふるさと起業家創出プロジェクト補助金とは

A 地域経済の活性化や地域課題の解決を図るために、地域経済の活性化等に資する事業を立ち上げる起業家、起業または新規事業展開に対して、市がクラウドファンディング型ふるさと納税を活用して、事業支援と補助を行う事業です。資金調達が目標に達しなくても、事業を実施することを条件として、予算200万円の範囲内で対象経費の4分の3以内を資金調達目標と設定し、それを上限に、クラウドファンディング型ふるさと納税で集まった寄附金の全額を補助金として交付するものです。

Q 地域力創造推進プロジェクト運営業務委託について、空き家対策における空き家バンクとの差別化は

A 居住用として登録する空き家バンクとは別に、地域おこし協力隊や、地域力創造アドバイザー、企業人といった外部人材に現状を見ていただいて、空き家をビジネスとして使うことで解消・活用につなげていこうという狙いの事業です。つまり、掘り起こした空き家を自らがビジネスとして使ってもらおうという、活用もセットとした事業で考えております。

Q 通学定期券購入費助成金終了に対する高校生や大学生へのフォローは

A 当初は移住定住促進で始めたものですが、それも絡めてより若い世代への子育て支援が大事ではないかということになりました。子どもが生まれるときや、子どもが学校に入るときなどに、うちの市は良いのだということを知ってもらいたいということではないかということで、保育所の無料化や、中学生の自転車の補助金といった、対象をより若い世代にしたという経過があります。たしかに高校生とか大学生の支援も非常に有効なことだと思いますので、今後研究の必要を感じています。

議案第26号 令和5年度かすみがうら市下水道事業会計予算

【議案の概要】

下水道事業の収益的収入支出予算をそれぞれ13億9886万5千円、資本的収入予算を7億3361万1千円、資本的支出予算を10億1048万5千円とし、不足する収入額を過年度分損益勘定留保金等で補填するものです。

Q 内水浸水想定区域図作成業務委託とは

A 1時間当たり153ミリという最大規模の大雨を想定し、雨水排水が排水路などの雨水排水施設の排水能力を超えるため、排除できない雨水により土地や建物が浸水する区域を、内水浸水想定区域図として作成する業務委託となっております。